

豊穰を祈る小正月行事

小正月行事のどんど焼きが市内各所で行われました。上条集落では、1月6日にオコヤタテ、14日にどんど焼きが行われ、どんど焼き当日は風もなく炎が空高く上がり、一年の五穀豊穰を祈りました。

ところで、正月と小正月で何が違うのかご存知でしょうか？

小正月は、月の満ち欠けで日を数えていた古代の暦法では、この日が新しい年の区切りとなっていました。その後、元旦に年初めが移され、正月行事は二分し、いくつかの行事は元旦の大正月に移されましたが、重要な行事はそのまま小正月に留まりました。大正月には歳神様を迎える行事、小正月には農業の豊凶の年占い、作物の豊かな実りをあらかじめ祝う予祝的な行事が残ったといわれています。

伝統的な風景とともに、このような伝統行事が継承されていることは貴重です。次世代へ引き継いでいきたい伝統文化です。

## 上条集落の道祖神祭り

### ＜オコヤタテ＞

1月6日（土）にオコヤタテが行なわれました。朝8時から行なわれ、夕方4時頃に完成しました。地区住民の方20名ほどで手際よく作業が行われ、今年も見事なオコヤが作られました。

上条のオコヤは、骨組みの土台や柱に木材、屋根には竹を使用します。その骨組みにスギやヒノキの葉を重ねて壁と屋根をつくります。形は金井加里神社の本殿を模しているともいわれており、非常に手の込んだつくりになっています。また、オコヤの脇にインキョヤと呼ばれる小ぶりのコヤを作ることも特徴のひとつとしてあげられます。



## <どんど焼き と 第17回上条集落見学会>

1月14日(日)にどんど焼きが行なわれました。午後5時過ぎより焚き火が焚かれ、組の皆さんが集まりだし、集まったところでオコヤが解体され、順次火にくべられます。パチパチと音を立てて勢いよく燃え上がる炎。これが少し落ち着いたところで各家庭で作ったお団子をどんど焼きの火で焼きます。これを食べれば虫歯にならないとされています。火を囲みながら色々な話ができることもどんど焼きの良いところですね。



どんど焼きと同じ日の14日に第17回上条集落見学会を行いました。午後3時に福蔵院をスタートし、金井加里神社をみて集落をご案内しました。見学会終了後は、上条のどんど焼きも見学させていただきました。今回の参加者は市外の方が多く、上条のオコヤやどんど焼きを興味深くご覧いただけました。また、組の皆さんより甘酒を振舞っていただき、大変喜んでいただきました。



## 福蔵院の新年互礼会

1月16日に福蔵院に地域の女性陣が集まります。寺の年始の返礼として檀家が寺へお年始に出かける日が16日です。福蔵院では、1月1日から3日にかけて護摩を焚き、4日に護摩祈祷した札を檀家の家々へ配ります。この御札の返礼として16日にお布施を持参して福蔵院へ出かけるそうです。福蔵院では軽食を準備して接待します。檀家とはいえ、一年でこの日しか会わない人もいるようで、近況報告や情報交換などの貴重な場ともなっているようです。これも長く続く地域の年中行事のひとつです。

